



令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

○質問調査結果から

- 課題解決に向けて、自分から考え、自分から取り組んでいる
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している
- 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている

以上のような項目に肯定的な回答をした児童生徒ほど、各教科の正答率やIRTスコアが高い傾向にある。

○学力調査結果から

- 国語では、自分の考えを根拠を示しながら書いたり、複数の情報から必要な情報を読み取ったりすることに課題がある。
- 算数・数学では、一定の学力の定着は見られるが、数量の関係や式の意味をもとに、自分の考えを根拠を示して記述することに課題がある。
- 理科では、実験や観察から得られた結果や他者の視点を元にして自分の考えを広げたり深めたりすることに課題がある。



**主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を
より一層進めていきましょう!!**

日々の教育活動や研修をさらに充実させていくために!!

国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」のページ

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

学習指導の改善・充実に向けての資料や動画、
授業アイデア例などが掲載されています。



徳島県立総合教育センター「県学力向上関係資料」のページ

<https://siryou.tokushima-ec.ed.jp>



学力向上に向けての県内研修会の資料や動画、
徳島版読解力についての資料などが掲載されています。



上記の資料や動画を活用しつつ、児童生徒の実態や学校の特徴を踏まえ、学力向上に向けた取組を推進していきましょう。